

令和6年第1回市議会定例会

提出予定議案 概要等

令和6年2月20日

市政 令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて

1 地震の概要

- (1) 発生時刻 令和6年1月1日 16時10分
- (2) 発生場所 石川県能登地方（輪島の東北東30km 付近）深さ16km
- (3) 地震規模 マグニチュード7.6
- (4) 震度 最大震度7（輪島市、志賀町） **小松市 震度5強**



2 津波警報等の発表状況（石川県加賀）

- 1月1日 16時12分 発表 津波警報
- 1月2日 1時15分 切替 津波注意報
- 1月2日 10時00分 解除

3 災害対策本部の設置

- 1月1日 16時10分 （震度5強以上のため自動設置）
- 同時刻 全職員参集（市役所，各施設，避難所）
- 18時10分 第1回本部会議開催（以降8回開催）
- リエゾン受入 石川県，小松警察署



災害対策本部会議

4 災害救助法，被災者生活再建支援法等の適用

- 1月1日 災害救助法の適用決定（震度5弱以上の県内17市町）期間：3月31日まで
- 1月6日 被災者生活再建支援法適用（県内全域）
- 1月11日 激甚災害（本激），特定非常災害指定

市政 令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて

5 被害の状況（2月16日現在）

【インフラ等の被害】

道路：通行止 2路線，橋梁 1件，陥没等 100件
 河川・排水路：護岸崩壊等 2件
 農業用施設等：80件（農道陥没，水路損壊等）
 上水道：本管等漏水 1件、赤水等 57件
 下水道：マンホール浮上等 105件

人的被害（人）

死者	重傷	軽傷	合計
—	—	1	1

住家被害（棟）

全壊	半壊	一部損壊	合計
1	50	1,845	1,896



土居原下牧線



九竜橋川

6 罹災証明書の発行等（2月16日現在）

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| (1) 罹災証明書及び被災届出証明申請受付 | 1月3日開始 (2,695件) |
| (2) 住宅の応急修理等についての相談受付 | 1月3日開始 (878件) |
| (3) 被災証明書（農林漁業者及び被災事業者対象） | 1月4日開始 (301件) |
| (4) 災害廃棄物の受入 | 1月4日開始 (1,018台, 594t) |
| (5) 災害義援金の受付 | |

受付場所	開始日	義援金額
市内8箇所（市役所等）	1/4～	1,722万5千円

市政 令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて

7 能登地方への支援等の状況（2月16日現在）

(1) 義援金の受付

受付場所	開始日	義援金額
市内8箇所（市役所等）	1/4～	3,121万8千円

(2) 人的支援

人的支援	支援先	期間	延べ人数
消防県内応援部隊	輪島市，珠洲市，穴水町	1/1～	91
DMA T隊	能登総合病院，富来病院他	1/1～1/8	8
医師・看護師他	石川県庁他	1/1～2/9	27
応急危険度判定	中能登町，穴水町	1/4～	6
応急給水作業	内灘町，珠洲市	1/14～	15
保健師等	穴水町	1/5～	9
災害廃棄物仮置場支援	志賀町	1/17～	26
避難所運営	志賀町	1/5～1/6	4

(3) 物的支援

支援物資を全国青年市長会などの自治体から能登の被災地への仲介

市政 令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けて

(4) 広域避難者の受入れ（2月16日現在）

① 受入れ状況

受入者数（人）	現在避難者数（人）
1,023	841

※市内旅館・ホテル 延べ24施設で受入れ

※その他、小松市内の親戚宅など避難所以外に避難された方：117人



生活必需品の配布

② 受入れ支援

受入れ支援	開始日	内容
生活必需品・食料の配布	1/4～	受入れ時の生活必需品・食料の供与
	1/27～	避難生活における生活必需品の配布
健康チェック	1/4～	医師会・保健師による聞き取り
健康体操・スポーツ教室	1/17～	避難者の健康維持増進のため



健康体操

③ 受入れ体制

受入れ体制	開始日	内容
広域避難者対応チーム発足	1/10～	生活再建に向けた情報提供等
サポートデスク設置	1/12～	避難者の日常の困りごとをサポート
二次避難所【せせらぎの郷】開設	2/1～	病院退院後、旅館等での避難生活が困難な方の受入れ

令和6年能登半島地震関連

災害関連予算額

合計 18億 1万円

1月1日付専決 災害救助、緊急復旧

7億9,301万円

- 避難所開設,貸貸型応急住宅供与,住宅応急修理など

災害救助費 8,910万円

- 災害廃棄物の仮置き場運営,処分費用(他市からの受入れ含む)

災害廃棄物処理費 3,000万円

- 町内の道路改良,舗装,排水路に対する補助

町内道路等災害復旧補助金 1,000万円

- 早期着手が必要な復旧工事費(道路,水路,学校,市営住宅等)

災害復旧費 1億7,725万円

- 原水濁水対応,給・排水管修繕など

水道事業 4,940万円

- 管路応急復旧,改修工事,カメラ調査,実施設計など

下水道事業 4億 396万円

1月4日付専決 広域避難者の受入

3,890万円

- 広域避難者受け入れに係る生活必需品,食事供与,学用品給与,2次避難所(せせらぎの郷)の開設準備ほか

災害救助費(広域避難者) 3,090万円

2月1日付専決 市民の生活再建、事業者のなりわい支援

1億5,170万円

- 国の支援対象にならない半壊・準半壊世帯に対する支援金

被災者生活再建支援金 4,000万円

- 住居・家財に被害を受けた世帯への貸付金

災害援護資金貸付金 850万円

- 国県の被災事業者支援制度に市独自で上乗せ支援

被災事業者再建支援費 600万円

- 半壊以上の家屋の公費解体(特定非常災害)

災害廃棄物処理費 6,270万円

- 災害救助法に基づく救助対象とならない生活家電(洗濯機,冷蔵庫,テレビ)の購入助成

生活家電給与費(応急仮設住宅入居者) 1,300万円

- 応急仮設住宅への入居等に必要な生活必需品の供与

生活必需品等供与費(広域避難) 550万円

3月補正 8億1,640万円

- 道路,公園,排水路などの復旧工事費

災害復旧費 8億1,640万円



2040年ビジョン実現に向けて「ウラニツポンからの挑戦」

- ▶ これまでもこれからも、対話とコミュニケーションを大切に
- ▶ 積年の課題から逃げず、先送りせず、真正面から取り組む
- ▶ 時代を先取りした新しいまちづくりに挑戦し続ける

予算編成における5つの想い

- 1 新幹線駅と国際空港が織りなす新時代に、小松を必ず飛躍させる
～半世紀の時をかけやってくる新幹線、類稀な都市基盤を活かす～
- 2 好循環を加速させるまちづくり推進力を増大させる
～産業創生。仕事を創り活力人口を呼び込むことで人もまちも元気に～
- 3 子育てするならダントツ小松のイメージを全国に浸透させる
～仕事を得た子育て世代がより暮らしやすく、より過ごしやすく～
- 4 頻発化・甚大化する自然災害・感染症から命を守り抜く
～医療・防災・福祉を時代が求めるカタチに再構築～
- 5 先送り体質に終止符。世代を超え公平・安定的な行政へ変革する
～変化するライフスタイルに応じ、今と将来に必要な行政需要に対応～

令和6年度当初予算 主な施策等 小松を明るく、にぎやかに

予算額

一般会計	特別会計	企業会計	全会計
516億5,000万円	313億2,030万円	255億8,430万円	1,085億5,460万円



世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ

北陸新幹線小松駅開業・都市基盤を活かすまちづくり

- ・西口広場のブロック舗装工事
 - 小松駅ターミナルプラン推進費 4,600万円
- ・交流の拠点「Komatsu 丸」
 - 観光交流センター管理運営費 5,702万円
- ・3月 自動運転バスレベル2定常運行開始
 - ④⑤⑥ 小松駅・空港間自動運転バス運行費 9,800万円
 - ・自治体ライドシェアの取り組みを推進
 - 4,400万円
 - ⑦⑧ 自治体ライドシェア運行費 (3月補正) 360万円
- ・ポート、自転車数を拡大
 - ⑨ 小松市シェアサイクル管理運営費 1,140万円
- ・能美市・加賀市と連携しPR展開、インバウンドプロモーション等
 - 新幹線小松駅開業プロモーション費 2,480万円
- ・粟津駅西広場整備に向けた用地取得等
 - ⑩ 粟津駅周辺整備費 1億8,930万円
- ・次期都市計画道路(今江三谷線)予備設計等
 - ⑪⑫ 都市計画道路調査費 1,000万円

交流拡大・国際交流

- ・5月25・26日 第30回全国花のまちづくり小松大会開催
 - ⑬ 全国花のまちづくり小松大会開催費 1,500万円
 - ・ビルボード市(ベルギー)、彰化市(台湾)との交流ほか
 - ⑭ 海外交流推進費 1,035万円
 - ・MICEや教育旅行など市内宿泊を伴う全国大会等の運営支援
 - 市内コンベンション開催支援費 1,140万円
 - ・外国人インフルエンサーを活用したインバウンド情報発信ほか
 - インバウンド推進費 290万円
 - ・ヘルスツーリズム・物販運営など、観光物産ネットワーク(DMO)の観光誘客強化事業を支援
 - こまつまるごと観光物産推進費(一部) 2,255万円
 - ・オープンファクトリーの開催、産業観光の推進 ほか
 - 産業観光推進費 2,170万円
- ...etc



⑬ スライド

⑭ 新規

⑮ 拡充

産業誘致・産業創出・就労環境

・進出決定した4社のうち3社へ売却	(歳入)	
安宅新産業団地売却収入		18億 9,210万円
(産業団地会計)		
・正蓮寺産業団地進出企業等への企業立地助成金		
・民間複業人材等を活用した企業誘致活動の推進		
(P) 企業誘致推進費		11億1,040万円
・東京23区内からの就労移住支援(子ども1人100万円加算)		
起業・就労移住支援費		2,000万円
こまつスタートアップラボによる起業家育成を支援		
・空き店舗・空き家を活用した創業支援		
(P) スタートアップ企業等創業支援費		1,800万円
・オフィス誘致により女性の活躍や新産業創出を推進		
サテライトオフィス立地推進費		1,000万円
・新事業チャレンジやBCP対策、DXやGXの推進(R5・R6は補助率等を拡充)		
(拡) 経営モデルチェンジ支援		2,000万円
・DXに取り組むため選定されたモデル事業者のコンサルタント費用を助成し、取組事例を創出		
(新)(P) DX推進伴走支援モデル事業		750万円
		…etc

農林水産業

・遊休農地の所有者と利用希望者をマッチング		
・整備に奨励金交付		
(新)(P) 遊休農地活用支援費		50万円
・小松産ブランド米(えちやけな)や地元野菜を学校給食に提供		
(拡)(P) 地産地消・食育推進費		480万円
・新商品開発や資格取得、スマート農業等の取組みを支援		
強い農業ひとづくり支援費(一部)		800万円
・農業者の経営努力では避けられない自然災害等のリスクに備えるため、収入保険の加入を促進		
収入保険加入促進事業費		570万円
		…etc



子どもたちの輝く未来創造都市こまつ



出産・子育て

・プレ妊活健診の推進, 若者へ妊娠に関する健康管理等の大切さを啓発

プレコンセプションケア推進費 340万円

・子ども1人あたり妊娠時に10万円、出産時に5万円を支給

おなかの赤ちゃん給付金費 8,400万円

うまれた赤ちゃん給付金費 4,200万円

・県内外の子育て世代に向けて子育て施策等をPR

⑤ 「子育てするならダントツ小松」プロモーション費 300万円

・小松駅周辺で子どもを預かり、こども園や学童クラブへ送迎する拠点を運営(カブッキーランド)

⑨ ⑤ こども預かりサービスステーション費 1,600万円

・育児や家事の支援(産前・産後家事支援)を産後6ヵ月まで延長

⑩ ⑤ ファミリーサポートセンター運営費 560万円

・全ての妊婦,子ども,子育て世帯への一体的相談支援
・育児に不安な家庭,ヤングケアラー等への家事育児支援

⑨ ⑤ こども家庭センター運営費 330万円

・10月から対象年齢を18歳に引上げ、所得制限撤廃、3子以降加算の引上げ、隔月支給に変更

⑩ ⑤ 児童手当給付費 18億5,820万円

・6園に改修費を助成(犬丸・今江こども園 園舎移転改築 等)

私立こども園等整備費補助金 9億4,030万円

…etc

教育・スポーツ・文化

・学校給食の食材料費調達を公会計化

学校給食費 5億9,770万円

・改築に向けた実施設計,モデルプランの検証

⑤ 松陽中学校整備費 1億8,939万円
⑤ 稚松小学校整備調査費 100万円

・学校の空調復旧や大規模改修実施設計,外壁改修 ほか

小学校校舎等改修費 2億2,615万円

中学校校舎等改修費 1億3,490万円

市立高校改修費 5,300万円

・中学校デジタル教科書を5教科に拡大(R7使用教科書から)等

授業支援費 8,020万円

・スピーチコンテストの実施や英検受験費用全額助成(中2・3)

英語力向上費 1,530万円

・小中学生サミットの実施,提案実現のために児童生徒が使える経費を追加

⑩ ⑤ 小中学生サミット費 450万円

・大学等進学に係る貸与型奨学金

未来を広げる奨学生支援費(一部) 422万円

…etc



誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ



医療・介護・福祉・健康

・市民病院本館建替えに向けた基本構想に着手

新 **(P)** 新病院基本構想策定(病院会計) 1,000万円

・MRI更新、南館空調設備改修、PFMセンター設置 ほか

市民病院の施設整備(病院会計) 8億 2,800万円

・VRを使った疑似旅行体験活動や、認知症高齢者グループホーム等において集いの場を提供

拡 **(P)** 認知症施策推進費(一部) 110万円

・在宅医療連携推進コーディネーターを市民病院に設置

在宅医療・介護連携推進費(一部) 480万円

・民間事業者運営の通いの場「事業所サロン」を展開、eスポーツ出前講座モデル団体支援

拡 **(P)** 介護予防事業費(一部) 700万円

・初乗り運賃助成券の枚数拡充(24枚→36枚)

拡 福祉タクシー費 330万円

・带状疱疹ワクチン接種への助成
・定期予防接種となった新型コロナウイルスワクチン接種 ほか

予防接種費(一部) 1億 6,998万円

・新型コロナウイルスの状況把握に加え、インフルエンザウイルスの分析を追加

拡 下水モニタリング調査(下水会計) 1,400万円

…etc

防災・防犯

・土砂災害ハザードマップ改訂 ほか

拡 防災体制強化費 2,800万円

・基礎工事、減築、軽量化等の耐震改修を推進

拡 **(P)** 住宅安全向上費(一部) 2,550万円

・緊急治水対策プロジェクトにより内水対策を強化

都市排水路整備費 1億9,300万円

内水ハザードマップ作成 1,300万円

(P) 下水会計 九龍橋川排水機場ポンプ増設 (3月補正) 2億400万円

石橋川遊水地整備 4億6,000万円

・消防システムの高機能化

(P) 高機能消防指令システム整備費 2億7,530万円

高機能消防ポンプ車購入費 7,300万円

多文化多様性・共生社会

・地域ビジョンに基づく地域活動支援を強化

拡 町内会等活動・施設整備支援費(一部) 1,500万円

・支援コーディネーターと専門職を配置し、相談支援体制を強化

拡 ひきこもり支援推進費 883万円

・体育館に空調整備、外装・内装等の改修

小松サン・アビリティーズ整備費 4億2,380万円

・助成金制度対象にさかさまバンクを追加

拡 定住促進費 8,150万円

自然が映え文化が息づくふるさとこまつ

環境保全・里山里湖・ゼロカーボン・廃棄物

- 再生可能エネルギー普及や地域環境活動を支援

④ 脱炭素・環境活動推進費 1,500万円

- 指定袋制度の運営, リサイクル向上に向けた助成
家庭向け生ごみ処理機等の購入補助

④ ごみ減量化・リサイクル推進費 8,340万円

- 公用車を4台をEV自動車へ更新しCO2を削減

公有財産管理費(一部) 1,630万円

- 照明LED化による施設の省電力化(主なもの) 3億7,670万円

團十郎芸術劇場うらら、リサイクルセンター、
末広野球場、小学校体育館 ほか

- 町内の街路灯のLED化促進のため無利子貸付制度

公衆街路灯LED化推進費 1,000万円

- キャンプ場の機能向上(デッキサイトの整備ほか)

⑤ 西俣キャンプ場管理運営費 1,210万円

- 森林環境譲与税の活用
(人工林整備・支障木伐採・松くい虫対策ほか)

森林環境保全推進費 3,320万円

…etc

文化振興

- 白山信仰関連遺跡として「那谷寺遺跡」の新規遺跡調査を開始

⑤ ⑥ こまつ歴史回廊調査費 500万円

- 5月10~12日 曳山子供歌舞伎を上演

お旅まつり開催費 3,380万円

- 5月4・5日 日本こども歌舞伎まつりin小松開催
團十郎襲名披露巡業公演 ほか

歌舞伎のまちこまつ推進費 2,160万円

- 小松市名誉市民となった人間国宝・吉田美統氏の半生を振り返る回顧展を開催

人間国宝吉田美統展開催費 850万円

- 資料館・メインロード周辺の活性化に向けた構想、
メインロード応急復旧工事実施設計 ほか

⑥ 尾小屋鉱山資料館周辺持続活性化事業費 2,085万円

…etc



ワンランク上の生活空間あふれるこまつ

Vision



生涯学習・市民スポーツ文化の充実

- ・基本計画策定, 芦城公園用地測量 等

(P) 未来型図書館づくり推進費 5,230万円

- ・プロスポーツチームと市民の交流を支援

トップスポーツチーム連携事業費 570万円

- ・大ホール天井・舞台照明設備等改修

市民センター改修費 2億2,089万円

- ・アリーナに空調新設, 床全面改修, 非常用発電設備等を更新

(P) 末広体育館改修費 2億4,405万円

(債務負担行為) 3億6,400万円

- ・スコアボード改修, 内野グラウンド排水改修 ほか

(P) 末広野球場改修費 4億1,305万円

...etc



スマートシティ・スマート市役所

- ・業務効率化推進, フリーアドレス用器具 ほか

スマートシティ・スマート市役所推進費 2,950万円

- ・紙媒体で保管・保存されている市公文書の電子化推進

(新) 文書管理事務電子化等推進費 1,000万円

- ・民間活力を活かし, 指定管理者制度を導入
市営住宅の跡地活用

市営住宅等管理費(一部) 5,190万円

- ・新たな返礼品の開発等により, 全国へPRを展開

ふるさと納税の推進 (歳入) 3億円

- ・施設維持管理に係る委託範囲の拡大

(拡) 包括的民間委託(下水会計)(債務負担行為) 35億7,000万円

- ・健全な財政基盤のため, 減債基金等を活用 (3月補正)

市債の繰上償還 3億2,000万円

...etc



予算

新病院建設に向けた基本構想に着手！

～南加賀の中核病院として救急・高度医療を強化～

予算額計：1,000万円

ウェルネスエリア



今後の役割・機能

- ・医療機関との地域連携
- ・救急医療
- ・がん診療・手術の充実
- ・研究・開発及び教育研修機能の充実
- ・政策医療（新興感染症など）への対応
- ・災害拠点病院としての機能強化 など

病院施設の現状

- ・本館は建設から約35年が経過し、老朽化が進行
- ・診療科目の新設や増改築により、院内動線等が効率性に欠け、共用部も不足

既存施設では、**役割・機能の達成が困難！**

本館建替えの必要性

基本構想の主な内容

- ◆ **高度な医療機能の充実**
 - ・医療機能・診療科等の構成
 - ・医療需要を見据えた病棟構成・病床規模・施設規模
 - ・整備スケジュール
- ◆ **ウェルネスエリアにおける産学官連携**
 - ・企業・公立小松大学など産学官連携による先端技術の研究開発・教育研修施設の検討 など

最適な病院施設の**あるべき姿**を検証

安全・安心の医療

持続可能な病院経営

❖ 高機能消防指令システム整備事業

- － 迅速・正確・操作性の高い最新機能を備えた消防指令システムの整備 －

令和6年度	予算額	2億7,530万円
令和7年度	債務負担	4億2,000万円

整備計画

平成24年度	令和5年度	令和6年度～ 令和7年度	令和8年4月1日
現システム整備	実施設計	整備	運用開始

機能アップ

1) 迅速な情報共有

消防本部、消防団の全車両にハイスペックAVM(車両運用端末装置)を搭載し、情報共有を強化します。



2) 被害の軽減・救命率の向上

映像通報システムとの連携により操作時間が短縮され、いち早く現場状況の映像確認が可能となる事から、救命率の向上につながります。



3) 災害対策本部との連携

消防隊による活動状況の映像・場所など様々な情報をリアルタイムに災害対策本部と共有します。



❖ 高機能消防ポンプ車購入費

予算額
7,300万円

- － 化学車機能を備えた水槽付消防ポンプ車に更新 －

- 運用開始 令和7年3月
- 配置場所 中消防署
- 主な特徴

- 水槽容量 2,000リットル
- 圧縮空気泡消火装置(CAFS)
 - ⇒ 通常の1/20の水量で消火可能
 - ⇒ 水損被害を最小限に抑える
 - ⇒ 化学泡放水最大84分可能

油や化学物質の火災に対応
迅速な初期消火



新型車両 (イメージ)



現行車両 1,500リットル水槽付ポンプ車
・平成15年3月導入(21年経過)
・機関部、車体の老朽化、性能低下

❖ 中消防署西出張所整備事業

予算額
680万円

- － 建設用地を取得し土地の造成工事設計に着手 －

移 転 地

場 所 長崎町四丁目39番地
敷地面積 約2,839㎡

建物構想

構 造 RC造2階建て
延べ面積 約650㎡
用 途 車庫、事務所、仮眠室等
分団併設 第3安宅分団、第4牧分団



耐震補助制度の拡充

－耐震化を推進し、安全・安心な暮らしを守る－

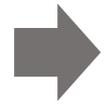
予算額：2,550万円

補助対象：昭和56年5月31日以前に工事着手された一戸建ての木造住宅

県内トップ
最大250万円補助

耐震改修工事
150万円

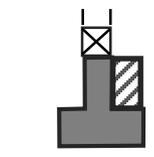
現行制度



上乗せ補助
加算工事
100万円

拡充後

- 基礎の補強
- 屋根の軽量化
- 減築



基礎の補強



屋根の軽量化



減築

対象工事費の1/2補助
補助限度額 100万円

さかさまバンクに補助制度を創設

－空き家の利活用・定住促進－

予算額：129万円

さかさまバンクを利用して成約した場合に利用可能

所有者向け	成約報奨金	3万円
所有者向け	改修補助（賃貸）	最大40万円
購入者向け	改修補助（売買）	最大50万円

対象工事費の1/2補助



梯川水系緊急治水対策のプロジェクトの推進

【プロジェクト第一段階目標：令和6年度まで】

・被災箇所の災害復旧を完了させるとともに、梯川において鍋谷川合流点までの引堤・河道掘削を集中的に実施

◆ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

国土交通省の取り組み

梯川：堤防整備

国道8号（梯川高架橋）

能美大橋
橋梁工事R5.7完成



梯川：河道掘削（丸内町）



石川県の取り組み

湊上川：護岸工事（中ノ峠町）



小松市の取り組み（内水対策）

九龍橋川排水機場
雨水ポンプ工事

4号洪水ポンプ
(4.03m³/s) 増設



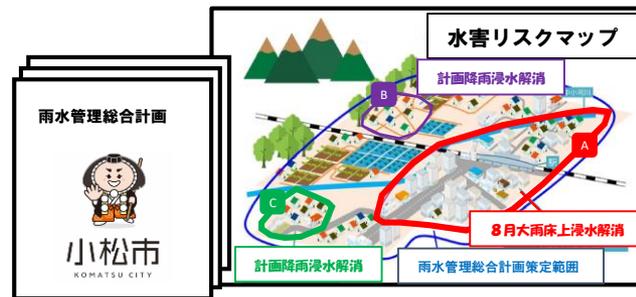
R6年9月完成予定

石橋川 導水路・遊水地整備



R7年度完成予定

雨水管理総合計画策定（R5年度～R6年度）



◇ 今後の整備方針（R7年度以降～）

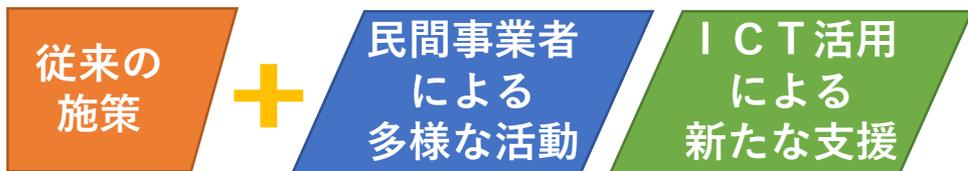
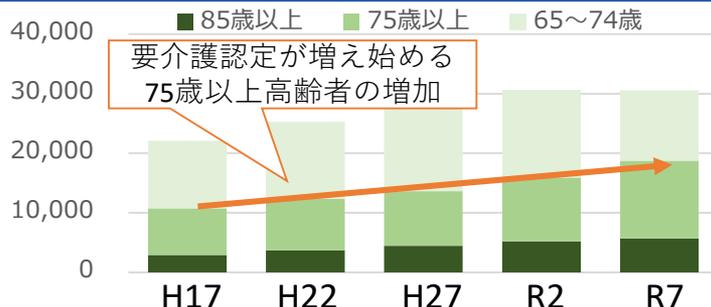
- ・ 地区毎に段階的な対策を実施
- ・ 国の交付金を最大限に活用し、優先度の高い地区から浸水対策を推進

予算

いきいきシニアへの新たな取り組み ～民間活力・最新技術を活かして～

予算額：新規事業 910万円

- ▶ 令和7年度には、団塊世代が全て75歳以上になり、**要介護・認知症高齢者の増加**が懸念
- ▶ 高齢者の価値観の多様化に合わせ、今後はサービスの量とともに、**サービスの多様性の確保**が重要

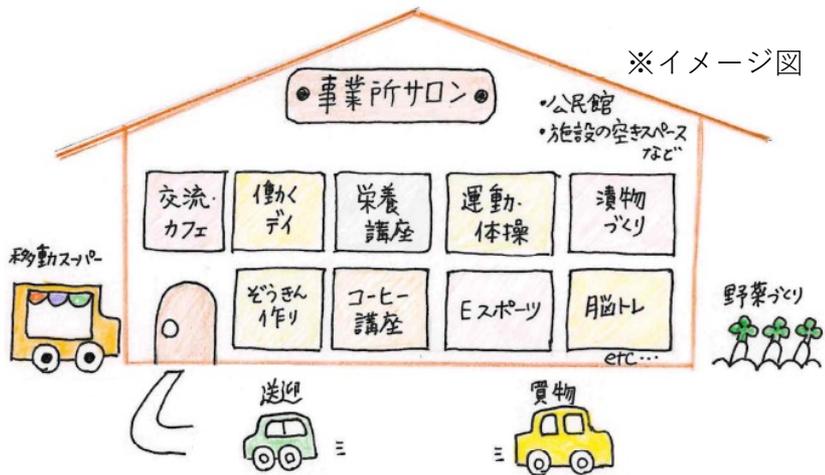


介護予防・認知症施策の一層の充実

通いの場の多様化

予算額：600万円

- **事業所サロン補助金 (新)**
- ・ 地域の介護事業者主体のサロンに助成



※将来的には多様な業種の参画を促し、地域全体で介護予防を推進

認知症施策の充実

予算額：110万円

- **認知症カフェ拡充事業**
- ・ 地域密着型事業者が、認知症当事者や家族が集う認知症カフェを開催
- **VR旅行体験推進事業 (新)**
- ・ 認知症当事者の「行ってみたい!」を応援



eスポーツの推進

予算額：200万円

- **eスポーツ推進事業**
- ・ 出前講座利用促進
- ・ 積極的に取り組む地域の高齢者団体をモデル団体とし、機材購入補助 (新)



こども家庭部

子育て世帯への包括的支援体制の強化

○こども家庭センター設置

母子保健と児童福祉の連携強化と一体的な支援を行う「こども家庭センター」を庁舎内に設置

妊娠期から子育て期における妊産婦、子育て世帯、子どもへの一貫した相談体制の確立を図る

○サポートプランによる支援

必要な支援を確実に届けるため、支援メニューの体系的なマネジメントを行う「サポートプラン」を作成し、計画的・継続的な支援を提供



○重層的なサポート

複雑・多様化する課題を抱える子育て世帯には、育児指導や家事援助のためのアウトリーチによる支援や、専門機関等との連携による重層的支援につなげるなど、より効果的な相談支援に対応

健康福祉部

福祉相談支援体制の強化

○基幹相談支援センター設置

障がいに関する一般・専門相談窓口として「基幹相談支援センター」を庁舎内に設置

専門性の高い相談支援専門員が相談に応じ、既存の窓口とも連携し、きめ細やかな相談支援を実施



官民協働による相談支援体制の強化

○ひきこもり相談と居場所提供

○18歳以上の発達支援センター

ひきこもりや発達障がいなど生きづらさを抱える方の相談窓口を設置

専門スタッフによる伴走型相談支援と安心できる居場所を提供

民間活力を活かし、福祉サービスの向上を図る



ダントツ

切れ目ない手厚い子育てサポート

妊娠期

- preconceptionケア
- 不妊不育治療費助成



赤ちゃん紙おむつ定期便



乳児期

幼児期



- 待機児童ゼロ
- 伴走型相談支援
- こども食堂

加速化プラン
少子化対策を後押し

- 児童手当拡充
- 育休取得推進
- 年収の壁対応 等

おなかの赤ちゃん
うまれた赤ちゃん給付金

こども医療費助成

- 結婚すまい応援金
- 障がい児、医療的ケア児支援

学齢期

小中学校給食費無償



青年期

給付型奨学金



進学・就職



貸与型奨学金

- 抜群の交通アクセス
- 仕事も、子育ても
ちょうどいい暮らし

- 質の高い教育環境

- 定住促進支援
- 二地域居住支援
- 企業立地・移住支援

ダントツ

をPR

情報発信

若者・子育て世代の移住・定住促進へ
市の魅力を全国に向けてプロモーション展開



ダントツ

を高める

子育て世代に選ばれる 充実の子育てサポートへ

北陸新幹線延伸効果も追い風に
子どもたちの輝く未来創造都市へ前進

- こども預かりサービスステーション開設
- 産後サポート充実
- こども家庭センター設置

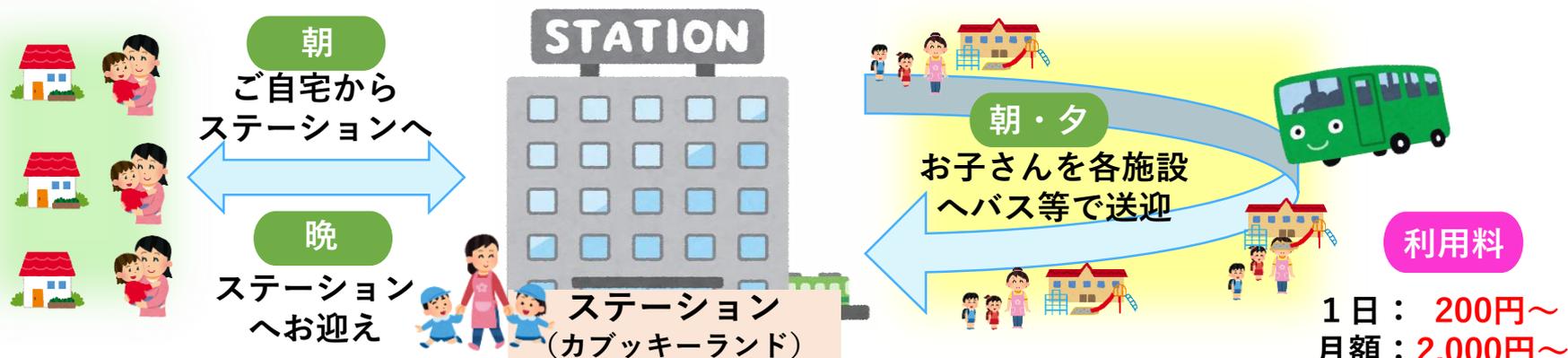


いくつもの都市で生活してとりついた、小松の「ちょうどいい」暮らし

メディア7媒体を活用し魅力紹介

こども預かりサービスステーション費

予算額：1,600万円



- お仕事時間を調整していた方も働きやすい環境へ
- 駅近くで電車通勤の方の利便性アップ

ファミリーサポートセンター運営費 (産後サポート) 予算額：560万円

産後の母親に対して、食事の準備や片付け・沐浴補助などの家事育児支援を手厚くすることで育児力を高め、安心して子育てできる環境を支援

● 現行 (令和5年度まで)

▶ 対象：産後2カ月まで

▶ 利用料：2H 1,200円



● 令和6年度

拡充

▶ 対象：産後6カ月まで

▶ 利用料：2H 1,200円

※特定妊婦 (サポートプラン対象者)で
市民税非課税世帯は免除

～特定妊婦には専門職による支援者を固定化～



市政 認定こども園だいいち整備事業

移転候補地 若杉町地内（6,200㎡程度）

安全性 洪水ハザードマップを考慮し、災害時の「セーフティネット」を目指します。

利便性 幸八幡線や大野八幡線など、幹線道路からのアクセスの良い場所に立地します。

地域性 他のこども園等との位置関係を考慮し、地域に根差した教育・保育を行います。

事業工程(予定)

R5 年度 R6 年度 R7 年度 R8 年度

・移転候補地選定
・用地交渉

実施設計

建設工事
(園舎、園庭等)

開園



《近隣こども園からの距離》

よしたけこども園 約900m
 わかばにしかるみこども園 約1,400m
 白江こども未来園 約1,900m
 せんだいこども園 約1,900m
 あおば保育園 約2,100m
 のしろこども園 約2,200m



〈現園舎〉

建築年：S48年，構造：S造・平屋
 延床面積：965㎡(敷地：4032㎡)



— ともに学び育つ学び舎 —



松陽中学校整備費

予算額 1億8,939万円

設計業務及び地質調査を実施。
令和7年度の市道付替工事を経て、
令和8年度に建設工事着手予定。

- 基本設計・実施設計
- 市道付替工事設計
- 上水道・下水道移設設計
- 地質調査

稚松小学校整備調査費

予算額 100万円

総合調査の結果を受け、複数の
モデルプランについて、検証を進め
ていく。

- モデルプランについての検証
- 地域との調査結果の共有
- 今後の方向性の検討

予算 小中学生 夢実現プロジェクト

予算額：450万円

New!

各学校での活動

活動費320万円

小中学生サミット

開催費130万円

児童生徒自身が、理想の学校像を話し合う

小中学生が考えたプランを学校で取り組む

気づく

考える

実現する



いじめのない
学校生活を

一人ひとりの思いが
生きる学校に

全員が楽しいと
思える行事を

児童会生徒会を
さらに活性化

楽しい学校の実現